

血圧が気になります、あなたへ。

東京大学と特許を共同出願した免疫活性成分「プロリコ」
摂取した体感のお声が、多数、届いています。

高血圧で、

ほんとうに怖いのは、

合併症です。

高血圧による悲劇を避けるには、「合併症」と、
その「原因」に潜むリスクを知ることが大切です。



三大合併症

- 脳疾患
- 心疾患
- 腎疾患

高血圧の原因の問題点

- 血圧は薬で簡単に下げられるが、高血圧の原因（加齢・腫分・肥満・運動不足等）は薬では改善できず、他の生活習慣病の発症リスクとなる。
- 高血圧の原因となる生活習慣は、免疫力も低下させ、感染症や、その他の様々な病気にかかるリスクが高まる。

その他の生活習慣病

※個人の感想であり、一部誤解を含んでおります。年齢は取扱当時のものです。

次は、「あなた」の、お役に立ちたい。

知識豊富なスタッフが、お悩み・疑問をおうかがいします。ご相談は、お気軽に。

今すぐ、通話料無料ダイヤルへお電話ください。

0120-632-265

【受付時間】7:00～22:00（年中無休）※IP・携帯電話からもご利用いただけます。
イマジン・グローバル・ケア株式会社プロリコ研究所 東京都港区六本木3-16-12 六本木KSビル8階

別冊4

私は週に2回ほど将棋クラブに行つて若い人たちと対局を楽しんでいます。最近は少し思考力が上がったような気がします。

81歳 男性

私は、いいことを重ねても、や身体にも良いことがあります。衰弱して行くのがわからずから、色々などこなろが少しづつ良くなるのが自分で食くわからります。

76歳 男性

プロリコ成分は、身体に良いと知っていますが、プロリコ成分は、さらに良さそうです。

43歳 女性

プロリコ成分は老いゆく身の命力を高め、健康寿命を叶えて、自然のままに美しく形よく老いる予感があります。

76歳 男性

とても良い。

51歳 女性

プロリコ成分のおかけです。

76歳 男性

体調が安定し、毎日、安心です。

76歳 男性

身体に合っている

60歳 男性

詳しくは中面へ
[詳しくは中面へ](#)

資料コード:A-1K

「サイレント・キラー」

(静かな殺人者)の異名の理由

血圧とは、心臓が動脈に血液を送り出すときに血管にかかる圧力のことをいいます。血圧が高い場合、自覚症状はありません。そのため、健診などで血圧が高いと言われても、いまひとつ危機感がない方が多いのです。

では、高血圧の何が問題なのでしょうか? 血管をゴムホースに例えて考えてみましょう。もとはしなやかで弾力があつたゴムホースも、中を流れる血流の圧が高いと、その負担がかかつて徐々に硬くなっています。これが動脈硬化です。時間(加齢)がこれに拍車をかけます。

想像してみてください。硬く弾力を失った血管に、急激に高い圧がかかるとなるでしょう。血管は破裂して出血を起こす可能性が高まります。

このように、動脈硬化が進行すると、脳卒中(脳出血、脳梗塞)、心臓病(狭心症、心筋梗塞)、腎臓病、大動脈瘤、さらには認知症などの病気のリスクを高め、死亡する恐れも高まります。

日本では、約430万人が高血圧であると推測されており、なんと総人口の3分の1が高血圧なのです。そのうち、受診



しているのは約900万人だけで、残りの3400万人の中に自分が高い血圧だと気づいていない人がかなり含まれていることになります。

このように危険を自覚しないままに放置され、知らないうちに進行し、ある日突然命に関わる状態となるため「サイレント・キラー」という恐ろしい異名を持つているのです。

高血圧は生活習慣病の代表的疾患で発症には遺伝

的要因と有害物質やストレッサー等の環境要因に加え、生活習慣要因が大きく関与します。ご家族に高血圧の方がいる場合、高血圧の遺伝的素因を持っていると考えられ、そこに食塩のとりすぎ、肥溝、運動不足、過度の飲酒、喫煙、アンバランスな食事など問題のある生活習慣が加わると高血圧を発症すると考えられています。

薬で血圧が下がっても

油断は禁物! の理由

高血圧対策の柱は、減塩、減量、有酸素運動などがあげられます。中でも、特に重要なのが減塩です。日本食は健康の保持増進に有效である点でも世界から注目されていますが、唯一の欠点ともいわれるのが、塩分摂取量が多くなりがちであるということ。味噌、醤油などを多く含むことが要因です。

あなたは、「自分が一日何グラムの塩分を口にしているかご存知ですか?」答えることができるのはおそらく、高血圧や腎臓病などのお悩みがあつて食生活をしつかり管理されている方でしょう。

厚労省は2015年に食事摂

取基準を改定し、一日の塩分摂取量の目標を、従来より厳しく、男性8g未満、女性7g未満としました。日本高血圧学会はさらに厳しく、1日6g未満を提唱しています。しかし、実際に私たちが摂取している量は、昔より減ったとはいっても、10.2g程度とまだまだ多めなのが現実です。

それもそのはず、味噌汁1杯に含まれる塩分は約1g、おにぎり1個には1.5g、ラーメンにいたつては、スープを全部飲むと1杯で6gを超えてしまうことも。

しかし、減塩が重要とはいえ、極端な減塩は味気なく、食事の

楽しみも半減してしまい、辛い思いをされる方が多いのも事実です。バランスのとれた適正カロリーの食生活や適度な有酸素運動も同じで、生活習慣の改善が大切と分かっていても、実行するのは簡単なことではありません。

なかなか血圧が下がらない場合は、主治医と相談して降圧薬の服用を検討すべきです。高血圧の状態が継続すれば継くほど様々な病気のリスクが高まるので、悠長に待っていることは得策とは言えません。

ただ、注意が必要なのは、薬の効果で血圧が下がっても、それで解決ではないということ。なぜなら、血圧が下がつても、そもそも高血圧の原因となつた

なければ、糖尿病、脂質異常症、脂肪肝、高尿酸血症、痛風、がんなど、他の生活習慣病のリスクは抱えたままなのです。

そして、問題のある生活習慣は、身体を病氣から守る要となる免疫力を低下させ、風邪やインフルエンザといった感染症はもちろん、肺炎、口内炎、膀胱炎、歯肉炎などあらゆ疾患にかかりやすくなります。血圧が高いということは、「いろんな病気に注意して」という体からのサインとして、これらるべきです。高血圧の人は、免疫力を高め、病氣にかかるリスクを軽減する必要があります。

プロリコで高い免疫力を維持し、健康長寿を目指しましょう。

病気を予防したいあなたへ。

東京大学と特許を共同出願した免疫活性成分「プロリコ」
摂取した体感のお声が、多数、届いています。

気分爽快です。

私は週に2回ほど将棋クラブに行つて若い人たちと対局を楽しんでいます。最近は少し思考力が上がったような気がします。

81歳 男性

良いので続けていきます。

プロリコリーは身体に良いと知つていましたが、プロリコ成分は、やたらに良さそうです。

43歳 女性

摂取しない日は、身体が重い感じがして、行動がしにくくなります。

70歳 男性

とても良い。
プロリコ成分のおかけです。

51歳 女性

体調が安定し、毎日、安心です。

76歳 男性

年齢を重ねるほど大きくなりリスクを伴う風邪。合併症のリスクと免疫力に関する正しい理解が必要です。

あまく見てはいけません!!

今、しっかりと
理解して
おきたい!

私は週に2回ほど将棋クラブに行つて若い人たちと対局を楽しんでいます。最近は少し思考力が上がったような気がします。

81歳 男性

なろが少しづつ良くなるのが自分で食くわからります。

76歳 男性

プロリコ成分は老いた身の力を高め、健康寿命を叶えて、自然のままに美しく形よく老いる予感があります。

76歳 男性

ヤバイかな、と思った時に、少し多めに摂取し、大丈夫になるケースもある。

54歳 男性

色々と試したが、今一番、身体に合っている

60歳 男性

次は、「あなた」の、お役に立ちたい。

知識豊富なスタッフが、お悩み・疑問をおうかがいします。ご相談は、お気軽に。

今すぐ、通話料無料ダイヤルへお電話ください。

フリーダイヤル
0120-632-265

【受付時間】7:00～22:00（年中無休）※IP・携帯電話からもご利用いただけます。
※個人の感想であり体感には個人差があります。年齢は取材当時のものです。コメント内容により一部部略変更しております。
イマジン・クローバル・ケア株式会社 プロリコ研究所 東京都港区六本木3-16-12 六本木KSビル8階

別紙5

詳しくは中面へ

資料コード:A-1C

三大合併症

- 気管支炎……………比較的早い段階で発症し肺炎の原因となる
 - 肺炎……………日本人の死因第3位
 - 急性呼吸不全……呼吸機能が低下し、呼吸困難になる
- 一般的に免疫力のピークは20歳前後であり、40歳ではピーク時の50%、70歳では、ピーク時の10%となります。そのため、单に風邪にかかりやすくなるだけではなく、重症化し、合併症を発症しやすくなるのです。

なぜ高齢者の風邪はリスクが大きくなるのか

- 一見軽症でも見逃してはいけないカラダのサイン
- 食欲がない
 - カラダがだるそう
 - 頻繁に眠そうにしている
 - 起きているのに返事がなかなか返って来ない
 - 機嫌が悪い、等々。

風邪をあまく見つけ いけないのはなぜ?!

誰でもかかることがある風邪ですが、**高齢者が風邪をひくと、若い頃と比較して免疫力が低下しているために、肺炎などの合併症を起こしやすく**、注意が必要です。

ただの風邪だと思っていたら、重篤な状態になりつつあるのを見過ごされてしまう場合もあるのです。

くしゃみ、鼻水などの症状があった場合、「風邪かな?」と思いませんよね。**風邪の原因はウイルスや細菌で**す。インフルエンザは、一般的な風邪と比べて、高熱が出て、関節が痛むなど、症状が重

くなったり、感染力が強かつたりするものの、風邪と同じく上気道の感染症のひとつです。

そのほか、子供に多い**R Sウイルス感染症や、S A R S(重症急性呼吸器症候群)も、ウイルスが原因の感染症**です。

原因が細菌なら、抗生素を使うことで効果が期待できます。しかし、風邪の原因の9割はウイルスです。ウイルスには、残念ながら、直接効く薬はありません。

インフルエンザの治療に使わ

れるタミフルなども、直接ウィルスを殺すことはできず、これ以上増えないようにできるだけです。

そのため、免疫力が落ちている高齢者が風邪をひいた場合は、重篤になってしまふことが多いです。

また、高齢者の場合、症状が現れにくいということにも注意が必要です。

高熱が出たり、酷い咳が出たりという症状がはつきりとあれば、早い段階で病院に行って診察を受けることができます。

しかし、そうではない場合、うつかり見過ごしてしまい、重症になってからだと、高齢者は体力も落ちていて、回復が難しくなるのです。

たとえ、平熱で、咳や痰も出で

いなくても、いつもと様子が違う場合は気をつけください。

いつもは食欲があるのに食べない、いつもはまっすぐ座れているのに身体が傾くといった時は、体調が悪いサインであることが多いです。

また、良く喋る人なのに、静かで話しかけてもなかなか返事が返って来なかつたり、うつらうつらしているように見えたりする時は、**意識障害**が起きているかもしれません。

機嫌が悪いのも、体調が悪いことを伝える元氣もなく、怒ったように見えるだけという場合もあります。

高齢者に多い 風邪による3つの合併症

高齢者は、ただの風邪から、**合併症を起こすことによって入院が必要になつたり、さらに重症化してしまつたりする危険性**があります。

風邪が原因となる主な合併症は次の3つです。

1つ目は**肺炎**です。風邪をひくと、ほこりや病原菌を排除する役割を果たしている鼻から喉までの上気道に炎症が起ります。すると、病原菌が簡単に肺まで到達してしまい、そこで増殖した結果、肺炎を発症します。

もともと、高齢者は**肺機**

能が低下している場合が多く、免疫機能も低下しているので、若い世代の人と比べると、肺炎になるリスクが高いのです。

また、重症になって命を落としてしまうケースも多く、事実、厚生労働省が公表している日本人の死因第3位は肺炎です。

2つ目は**気管支炎**です。上気道に対し、下気道と呼ばれる気管支が病原菌に感染し、炎症を起こした状態です。

急性気管支炎は、風邪から比較的早い段階で合併し発症するもので、**気管支炎も肺炎の原因**になります。

3つ目は**急性呼吸不全**です。上記の気管支炎や肺炎は呼吸困難を引き起こす原因となります。

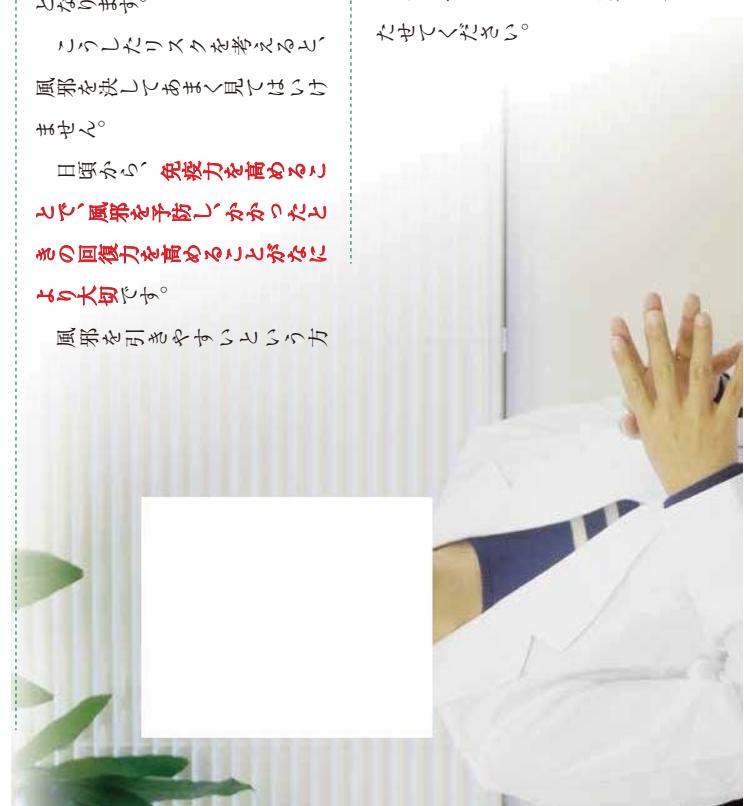
こうしたリスクを考えると、風邪を決してあまく見てはいけません。

日頃から、**免疫力を高めることで、風邪を予防し、かかつたときの回復力を高めることができます。**

風邪を引きやすいという方

で、プロリコ成分を摂取いただいた体感のお声が多数届いています。

次はぜひ、あなたのお役に立たせてください。



花粉症で、お悩みのあなたへ。

東京大学と特許を共同出願した免疫活性成分「ブロリコ」
摂取した体感のお声が、多數、届いています。

花粉症で、

ほんとうに大切なのは

免疫力です。

花粉症の軽減には、体調を良い状態に保ち、免疫バランスを維持することが大切です。

花粉症のメカニズム

花粉症はよく知られているように「アレルギー症状の一つ」。花粉を有害な異物と認識し、花粉が体内に入つてこないよう花粉症のメカニズム

鼻水、鼻づまり…… サラサラした水っぽい鼻水がでる、鼻がつまる
目のかゆみ………… 目やに、充血、異物感を伴う目のかゆみ
くしゃみ………… 連続した激しいくしゃみ

ヒトの免疫力と花粉症の関係

ヒトの免疫細胞は異物の種類に反応する細胞が決まっており、相互に作用しあう。花粉症シーズンの2～4月は、季節の変わり目で体調を崩しがちなため、免疫システム全体が不調をきたし、花粉症の症状も悪化やすい。花粉症を抑えるには、まず免疫力を整えて、体調そのものを良くすることが大切。

講義は甲面へ

に。ご相談は、お気軽にお問合せ下さい。

今すぐ、通話料無料ダイヤルへお電話ください。リサ・モード
ゴーリコ

別紙6

受付時間】7:00～22:00(年中無休)※IP携帯電話からもご利用いただけます。

0120-632-265

フリーダイヤル

【内文例】 11:00 - 22:00 (平日無休) 〒105-0045 東京都港区六本木3-16-12 六本木KSビル8階
東京都市開発株式会社

花粉症の薬の副作用

「鈍脳」とは？

花粉症はいまや国民病。しかし、花粉症のメカニズムを本当にきちんと理解していくつか。また、薬による治療のリスクはご存知でしょうか。

花粉症はスギやヒノキなどの花粉が原因となるアレルギー性の病気です。アレルギーとは、ある物質がカラダの中に入ったり、触れたりした時などに起こる異常な免疫反応のことです。

花粉症の場合、花粉が体内に入ったときに「異物」と認識されると、IgE抗体という物質が作られます。そしてIgE抗体が鼻や目の粘膜の細胞と結び

つき、ヒスタミンという物質が分泌された結果、鼻水や涙をして花粉をできる限り体外に追い出そうとします。

花粉症によって引き起こされる、**鼻水・鼻づまり・涙・目やに、くしゃみ**といった症状は、頭痛やだるさにもつながり、日常生活に必要な集中力や判断力の大きな低下を招きます。具体的には、運転時に眠くなったり、勉強に集中できなくなったり、仕事や家事で疲れやすくなるといった問題を引き起こします。

では、花粉症は病院に行くことのように治療してもらえるのでしょうか。花粉症で病院に行くと、アレルギーといふ観点では厄介者扱いのヒスタミンですが、

抗ヒスタミン剤という薬が処方されます。ただ、これは、根本的に改善するのではなく、あくまで鼻水や涙ができるといった症状を抑えるための対症療法であり、薬の服用をやめると再び症状が出ます。

また、抗ヒスタミン剤には、脳の機能が低下するという副作用があります。具体的には、**眠くなつて、判断力や思考力が落ちる状態**になり、これを「**鈍脳**」といいます。

アレルギーといふ観点では厄介者扱いのヒスタミンですが、脳を活性化するという重要な役割を担っています。抗ヒスタミン剤を服用すると、血流に乗って脳内に薬が移動

し、脳のヒスタミン作用を低下させてしまいます。

「花粉症の薬を飲むと眠くなる」ということはよく言われますが、それは抗ヒスタミン剤によって脳の働きが抑制されるという副作用によるものです。

近年、医療用では、鈍脳を起こしにくいタイプの抗ヒスタミン剤が数多く処方されていますが、市販薬(OTC医薬品)では、まだまだ鈍脳を起こしやすいタイプの薬が販売されているのが実態です。

そのため、薬によって症状をおさえるだけでなく、**免疫力を調節し、体調を整え、アレルギー症状の発症自体を軽くすることが大切**です。

花粉症と免疫力の関係とは？

花粉症の人たちは、鼻水や涙がでるといった悩ましい症状を直接的にどう抑えるかのみに關注が向かいがちです。しかし、**花粉症もほかの病気と同じように、免疫力を整えて体調そのものを良くすることが、症状を軽減するためにはとても大切**です。

なぜかといふと、ヒトの免疫システムは、それぞれの免疫細胞がどの異物に対して作用するかが決まっている一方で、**全体のバランス**というものが存在します。免疫細胞全体が正常に働くことで個別の免疫細胞も正常に機能し、何かが正常に機能しなくなると免疫

全体に影響が出ることが多いのです。また、花粉症がおこる2月～4月は、季節の変わり目で体調を崩しがちな時季です。**免疫システム全体が不調をきたしやすく、その結果、花粉症の症状も悪化しやすい**のです。

花粉症に悩んでいる方は、疲れが溜まっていないか、不規則な食事や生活をしていないか、体調を崩していないか、などで、症状の出方が変わってくるという経験があるのではないでしょう。

地味なように思えますが、風邪などによって体調を崩さないようにして、カラダを良い状態に

保つことは、花粉症の症状の軽減にとって、とても大切です。

アブリコ成分は、NK細胞(ナチュラルキラー細胞)という免疫細胞を大きく活性化させ、免疫力を高めるアブリコリーの新成分です。

免疫力が高まるほど、病原菌、ウイルス、体内で異常発生した悪性の細胞を撃退し、体調の向上・病気の改善という可能性があります。直接的に鼻水や涙が出るなどの花粉症の症状をおさえるものではありませんが、免疫力を高めることで体調が整うことが期待されます。

また、花粉症以外のアレルギー疾患(ぜんそくやアトピーなど)については、疾患ごとにメカニズムが異なるため、NK細胞を活性化させ免疫力を高めることが効果的かは一概には言えません。

体感のお声は多数いただいていますが、お医者様と相談の上でご検討いただき、状況に応じて判断いただくことが望ましいです。

次はぜひ、あなたのお役に立たせてください。



病気を予防したいあなたへ。

東京大学と特許を共同出願した免疫活性成分「アロリコ」
摂取した体感のお声が、多数、届いています。

あまく見ては、

免疫力の低下を

今、しつかり
理解して
おきたい!

いけません!!

免疫力は年齢とともに低下し、異常な細胞の
抑制・除去が難しくなるので、免疫力に関する正しい理解と対策が必要です。



免疫力の3つの働き

- ☑ 体内で発生した異常な細胞を見つけて攻撃(自然免疫)
- ☑ 体内に侵入した病原体を相手を特定せずに排除(自然免疫)
- ☑ 一度体内に侵入した病原体を自動排除する仕組みをつくる(獲得免疫)

なぜ年をとると異常な細胞が増えやすくなるの?

一般的に免疫力のピークは20歳前後であり、40歳ではピーク時の50%、70歳ではピーク時の10%となります。そのため異常な細胞を抑制・除去する力が弱くなり、異常な細胞が増えやすくなるのです。

免疫力低下のサイン

- 口内炎ができるやすい
- 肌荒れがひどい
- 傷が治りにくい
- 便秘や下痢をしやすい
- 身体が冷えている
- 歯ぐきからすぐ血が出る
- 眠れない

知識豊富なスタッフが、お悩み・疑問をおうかがいします。ご相談は、お気軽に。

今すぐ、通話料無料ダイヤルへお電話ください。

フリーダイヤル **0120-632-265**

【受付時間】7:00～22:00（平日無休）※IP・携帯電話からもご利用いただけます。
イマジン・アローハル・ケア株式会社プロリコ研究所 東京都港区六本木3-16-12 六本木KSビル8階

雪絵 7

2013年9月医師から病気の診断を受け、すぐに手術を受けました。その後、細胞の免疫機能アップが必要だと考え、ペインターネットや本などを調べてやっとたどり着いたのがこの「アロリコ」でした。それから摂取を続けていますが、まだ先が心配ですが、本当にうれしかったです。

67歳男性
「風邪をひきにくくなつた。それ以外に悩まされた問題も気にならないなつた。旅行に行つてもあまり疲れなかつた。今後も摂取したい。」

45歳女性（娘さまより）
「元気で、週に1日私の子どもの面倒もみててくれています。母の気力もすこいですがその手助けとなつたアロリコにも感謝しています。」

33歳女性
「とにかく免疫力が上がつていい感じです。ずっと継続したのに、元気が出できました。」

42歳男性
「月経過した頃から、それまでのと体調が厳しかつたのが、おかげさまで体調良く過ごしております。」

61歳女性
「2ヶ月前に手術を受けた。術後に薬を飲むように勧められましたが、副作用の仕事を考えると飲む気になれず、徐々に疲労感がなくなり、分も体調も良い状態です。」

33歳女性
「年に一度の健診で、これまでの検査結果は良好でした。まだ先が心配ですが、本当にうれしかったです。」

42歳女性
「個人の感想であり体感は個人差があります。年齢は取材当時のものです。コメント内容により一部省略変更しております。」

次は、「あなた」の、お役に立ちたい。

資料コード:A-IG

異常な細胞ってなに? 身体への影響は?

体型や肌といつた外見の変化については、目で見すぐわかることが多いので、みなさんよく認識されています。

しかし、身体の中、臓器・器官を構成している細胞についてはどうでしょう。年齢とともにどのように変化しているかは理解していますか。

実は、私たちが考えている以上に、**年齢を重ねると体の細胞に異常が出やすくなる**のです。

私たちの体は、60兆個もの細胞からできています。たくさんのが、新陳代謝で定期的に入れ替わっていきます。皮膚が定期的に入れ替わって垢ができる

ように、私たちの体の細胞は、毎日あらゆるところで寿命を迎えて、新しくつくられた細胞と入れ替わっています。

「5年ぶりに会う彼女は、まるで別人のようだつた」というようなセリフが小説などではあります。が、5年も経てば、全身の細胞は完全に入れ替わっており、まさに、「細胞レベルでは別人」と言えるでしょう。

話が少しそれてしましましたが、正常な細胞は、ただ増えて入れ替わるだけでなく、体や周囲の状態に応じて増えたり減ることをやめたりします。例えば、皮膚の細胞は、けがをすれば増殖して傷口をふさぎますが、傷

が治れば増殖を停止します。しかし、日々生まれる細胞の中には、正しく動かない異常なものも含まれます。この**異常な細胞**は、体からの命令を無視して増え続けるので、周辺臓器に栄養が行き渡らなくなつて機能を低下させたり、体中に広がつたりします。

実は、異常な細胞は毎日1000~2000個ほど身体の中で生まれています。ただ、免疫細胞がそれらを排除したり、「アボトーシス」という細胞を死に誘導する仕組みが働いたりすることで、人の健康は保たれています。

そのため、**免疫力低下、異常細胞の発生増加**といった状況が発生すると、**異常細胞への対応が身体の**

中で追いつかなくなり、病気になつてしまつ可能性があるのです。

不規則な生活や食事をしているたり、ストレスの多い環境にいたりすると、人の免疫力は下がつります。また、たばこ、食べ物の焦げ、過剰な塩分などは、異常な細胞の発生を促進するとされています。

こうした事を避け、**免疫力を高めることが、健康を守るために大切です。**

免疫力は年齢とともに大きく下がる!?

ただ、**免疫力は年齢とともに大きく下がつていく**という問題があります。一般的に、免疫力のピークは20歳前後であり、40歳ではピーク時の50%、70歳ではピーク時の10%にまで下がつてしまします。

また、年を重ねるといろんな病気にかかり、病院に行く機会や常用する薬が増えてしまいますが、薬の中には副作用でさらに免疫力を下げてしまうものがあります。

「免疫力が下がる→病気になる→活動量が落ちる・薬が増える→免疫力がさらに下がって、より病気にかかりやすくなる」という悪循環に陥つてしま

うのです。

さらに、免疫細胞には身体に発生した異常な細胞を排除するという役割があるので、**免疫細胞の働きが低下すると、異常な細胞が増えやすくなつてしまします。**

実際、年齢が上がるにつれて、異常な細胞の増殖などが原因で体に異常が発生するリスクも高くなります。

また、免疫力が高い若い頃に比べると、風邪を引きやすくなつたり、体調を崩しやすくなつたりします。高齢の場合、ただの風邪でも、**合併症**を起こすことによって、重症になると命の危険が出てきてしまう場合も

あります。
肺の機能も低下していることも多いので、**肺炎**などにもかかりやすくなるため注意が必要です。

日頃から**免疫力を高め、異常な細胞とたかう力、病原菌を排除する力を維持することが健康を守るために大切なです。**

プロリコ成分は、NK細胞(ナチュラルキラー細胞)とよばれる自然免疫を大きく活性化さ

せ、**免疫力を高めるプロリコリーの新成分です。**免疫力が高まると、病原菌、ウイルス、体内で異常発生した悪性の細胞を撃退し、体調の向上・病気の改善が期待できます。体調を崩しやすい方で、プロリコ成分を摂取いただいた体感のお声が多数届いています。

次はぜひ、あなたのお役に立たせてください。



肌トラブルにお悩みのあなたへ。

東京大学と特許を共同出願した免疫活性成分「プロリコ」
摂取した体感のお声が、多数、届いています。

免疫力を忘れては

今、しつかり
理解して
おきたい!

いけません!!

ニキビや肌荒れの症状や肌ツヤを良くする
ためには、体調そのものを良い状態に保つ
ことが大切です。



肌の新陳代謝のメカニズム

肌は、新しく生まれた細胞が、少しずつ表面まで押し上げられていき、最終的に垢となる
ことはがれ落ち、また新しい細胞が生まれてくるというサイクルを繰り返しています。
このサイクルによる肌の新陳代謝が「ターンオーバー」です。

主な肌トラブル

- にきび・……皮脂による毛穴のつまりが起こす炎症
- 肌荒れ・……かさつき、毛穴の開き、湿疹など
- 肌ツヤ・……肌のキメの細かさと水分量

肌の悩みとターンオーバーと免疫力

肌のターンオーバーの乱れで、肌トラブルが起きやすくなります。そして、ターンオーバーは、ホルモンバランス、内臓の状態など、様々な要素の影響を受けています。
肌の問題には、化粧品や薬によるケアだけでなく、免疫力を高めて、体調そのものを
良い状態に保つことも大切です。

写紙 88

0120-632-265

【受付時間】7：00～22：00（年中無休）※IP・携帯電話からもご利用いただけます。
イマジン・クローバル・ケア株式会社プロリコ研究所 東京都港区六本木3-16-12 六本木KSビル8階

知識豊富なスタッフが、お悩み・疑問をおうかがいします。ご相談は、お気軽に。

今すぐ、通話料無料ダイヤルへお電話ください。

リサーチ プロリコ
フリーダイヤル

資料コード:A-IH

年齢を重ねると ターンオーバーが遅くなる!?

肌のターンオーバーという言葉をよく耳にしますが、実際ターンオーバーの仕組みはよくわからない、という方は少なくないのではないかでしょうか。

ターンオーバーとは、肌の新陳代謝のことです。新しく作られた肌細胞がどんどん表面に出てきて、最後は折となつてはがれ落ちるという、肌が生まれ変わることです。

顔の肌は、新しい細胞が生まれから剥がれ落ちるまで、およそ28日間周期でターンオーバーが行われているといわれています。

このターンオーバーが亂れるとき、ニキビや肌荒れ、

肌ツヤの低下といった問題が起きます。

ターンオーバーが早いと、肌細胞が未熟な状態のまま表面に出てくるので、保湿力がなく乾いた状態になります。また、保湿力がない肌は、ダメージに弱く、刺激を受けると硬くなつてしまします。

ただ、年齢を重ねると、逆にターンオーバーが遅くなつて肌トラブルを起こすことが多くなります。ターンオーバーが遅いということは、肌の生まれ変わりが遅いということになるので、古い角質がいつまでもくつついでいることがあります。

日焼けや傷の回復も遅くなりま

すし、メラニンが沈着しやすくなり、シミの原因にもなります。

角質はすでに死んでいる細胞ですから、いつまでも肌に残つていればいるほど、硬く汚い角質になるため、見た目もごわごわでざらざらしたきめが粗く硬い肌に見えてしまいます。

また、ターンオーバーの乱れによって肌が硬くなると、皮脂による毛穴のつまりが起こりやすくなり、そこでアクネ菌が増殖して炎症が発生し、ニキビができてしまいます。このように、肌に悩みを抱えた場合は、肌のターンオーバーを正常に保つことが必要です。

そのためには、規則正しい睡眠、バランスの取れた食生活、ス

トレスをためないなど、基本的な生活習慣を整えることが大切です。

特に、ターンオーバーは寝ている時間に行なわれる所以、良質な睡眠こそがターンオーバーの正常化に欠かせません。22時以降はできるだけ早く寝ること、6時間以上の睡眠時間を確保することが、肌を良い状態に保つことにつながります。

そして、紫外線をたくさん浴びないよう注意しましょう。

また、運動することは肌に良いという意見を見かけますが、肌のターンオーバーはエネルギーを消費するので、寝る前の運動は肌に良くありません。就寝の2時間前には、過度な運動は避けるようにしましょう。

肌と免疫力の関係とは?

肌の問題に悩んでいる人は、いかに直接的にニキビを治すか、肌荒れを改善するか、肌ツヤを良くするかといったことに焦点を当て、化粧品の見直しや塗り薬による対処のみに意識に向かいがちです。

しかし、肌の問題もほかの悩みと同じように、免疫力を高めて体調そのものを良くすることが、症状を改善する上でとても大切です。

なぜかというと、ニキビ・肌荒れ・肌ツヤなどの悩みは肌のターンオーバーが正常に働くことが多いことが原因である場合が多いですが、肌のターンオーバーは、ホルモンバランス、胃腸や肝臓

などの内臓、体温や血行など、体に関する様々な要素の影響を受け、そのバランスのもとになり立っているからです。

たとえば、体温が上がると血行が良くなつて内臓も正常に働くように、体内での様々な働きはお互いに影響を受け、有機的に機能しています。

実際、疲れを感じていたり、風邪を引いていたりするときに、他の病気も悪化したり、肌の調子を崩したりした経験をあなたもお持ちではないでしょうか。地味なように思えますが、風邪などによって体調を崩さないようにして、体調を整えることは、肌を良い状態にする上でとても

大切です。

つまり、肌トラブルの改善には、化粧品の見直しや塗り薬による対処といった直接的なケアに加え、免疫力を高めて体調全般を整えることが効果的です。

プロリコ成分は、NK細胞(ナチュラルキラー細胞)という免疫細胞を大きく活性化させ、免疫力を高めるアロコリーの新成分です。病原菌、ウイルス、体内で異常発生した悪性の細胞を

撃退し、体調の向上・病気の改善に対して非常に効果的です。

直接的に肌にはたらきかける成分ではありませんが、免疫力を高め、体調を整えることでお体のお役にたちます。

次はぜひ、あなたの役に立ててください。

